

明野美術会の由来と今日までの歩み

谷中 恒雄

明野美術会は、絵の好きなグループの集まりです。昭和 61 年に現在水彩画家の古宇田保先生(下妻市在住)を講師に 12 名で同好会として立ち上げ、明野文化協会に加盟する。初代会長には、(故)大園長英氏が就く。後 63 年明野美術会に改称し、25 年の歴史ある会である。途中多くの出入りはあったが、発足時からの会員を含め現在、18 名のメンバーで構成されている。

本会は、決してプロの集団ではありません。趣味を通して人生の生きがいや喜びを教えてくれるものと思っている。又地域の皆さんが鑑賞される事によって少しでも“やすらぎ”や“くつろぎ”を分かち合えれば、との想いが会員の願いとも信じる。

メンバーの中には、定年を迎え職を離れた者、現役のサラリーマンや専業主婦まで、性別、職業、年齢もさまざまである。又楽しみの一つに毎年秋、研修と親睦を兼ねた一泊二日のスケッチ旅行を行っている。本会の活動をみると、毎月第四日曜日を定例と定め、明野公民館にて、静物や人物を描いたり、近隣の風影を写生したりと、楽しい心と和むひと時を育む。又明野公民館で毎年行われる秋の文化祭、又明野元気館やアルテリオにも出展させていただいてる。時には専門家を講師に招き、適切なアドバイスや指導、又批評等をいただきながら切磋琢磨技術向上を目指している。

尚 1 月には、明野図書館のご協力により、毎年作品展を行っている。新聞各社での記事掲載や市報での告知等によって年々ご来場者が増え、今回は第6回目を迎えて地域の皆さんに楽しんでいただいております。明野美術会の集大成とも言えましょう。

私の主観を含め絵について少し触れてみたいと思う。画材を大別すると、油彩・水彩・パステル・日本画・鉛筆画と多様である。描き方や考え方はあまり変わらない。自分は何を描きたいか？ 又観ていただく方に何を訴えたいか？ しっかりテーマを持ち個性が生かされていればいいと思う。具体的には、デッサンが確かで色調・明暗・陰影が正確で全体が統一されていれば、上手・下手にとられずベストな作品と言えるでしょう。読者の皆さん、入会を希望される方は、ぜひ明野美術会まで連絡を!!

連絡先は、TEL:52-2057、TEL:52-0518(事務局)

(やなか つねお/明野美術会代表)



1月の予定



●おはなし会 午後2時から 児童室にて

1月8日(日)
『ともだちがほしいの』
『しりとりのだいすきなおうさま』

1月15日(日)
『おもちのきもち』
『だいすきっていいたくて』

●明野美術会第6回作品展

油絵、水彩画、パステル画など、18名の会員が1人2点ほど出展します。

日時:1月15日(日) ~ 1月29日(日) 午前10時 ~ 午後4時まで

(※ただし、16日、23日は休館)

場所:明野図書館視聴覚室



●年末年始休館のお知らせ

12月28日(水) ~ 1月4日(水)まで休館となります。休館中に返却される方は、返却ポストをご利用ください。

なお、視聴覚資料につきましては、破損防止のため1月4日以降、直接カウンターにお返しく下さい。



図書館カレンダー



1月 JAN						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

【開館時間】
午前10時から
午後6時まで

■は休みです。

2月 FEB						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29			